



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表執行役社長 好本 達也
 お問合せ先 財務戦略統括部 IR推進部
 TEL 03-6895-0178

2022年6月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告 (IFRS)

1. セグメント別売上収益 (売上高) (対前年増減率: %)

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	6月度	3-6月累計	6月度	3-6月累計
百貨店事業	15.2	21.0	18.5 (19.7)	26.2 (27.6)
SC事業	▲13.9	▲7.2	7.3	14.3
デベロッパー事業	4.4	▲6.7	4.4	▲6.7
決済・金融事業	22.6	31.6	22.6	31.6
その他	▲5.9	▲13.6	▲10.8	▲12.7
連結合計	4.5	9.0	13.2	18.7

※注) 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。
 2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業(パルコSC)」の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しています。
 3. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
 4. 松坂屋豊田店は、2021年9月末日をもって営業を終了しました。百貨店事業の()内は、松坂屋豊田店の値を控除した増減率を示しております。
 5. 当社は、2021年6月30日付で㈱ヌーヴ・エイの全株式を譲渡しました。
 6. (株)大丸松坂屋百貨店は、2021年9月1日付で(株)大丸松坂屋セールスアソシエイツを吸収合併しました。
 7. 当社は、2022年2月28日付で㈱ディンプルの株式の90%を譲渡し、連結の範囲から除外しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 6月度の売上高は、前年20日までの土曜日・日曜日に一部売場を除き臨時休業としたことによる反動増や、入店客数増加の影響により、大丸松坂屋百貨店合計(既存店)では対前年20.1%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計(既存店)では同19.7%増となった。
- 商品別では、ラグジュアリーブランドや宝飾品が、引き続き、前年およびコロナ禍前の2019年度実績を上回った。
- 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高は対前年103.3%増(客数同168.5%増、客単価同▲24.3%減)であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の7月度の既存店売上(法人・本社等を除く)は、クリアランスセールが前年を上回って推移したことや、ラグジュアリーブランド、宝飾品が好調を持続したことなどにより、14日までの累計で対前年14%増(対2019年▲13%減)、国内売上高は同12%増(対2019年▲7%減)で推移している。また免税売上は対前年334%増(対2019年▲81%減)で推移している。

2) SC事業

- パルコ店舗の売上収益は前年を上回ったものの、2021年6月30日付で(株)ヌーヴ・エイの全株式を譲渡したことによるマイナス影響により、トータルで減収となった。
- パルコ店舗テナント取扱高は、前月に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着いた影響により消費行動が活発になったことや、前年の主要なパルコ出店地域における緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の実施に伴う営業時間短縮や一部店舗の休業の反動などがあり、全店舗計で前年に比べ好調に推移した。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J.フロント建装が、百貨店の改装工事関連が好調であったことにより前年実績を上回り、トータルでも増収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、百貨店売上の回復や、年会費受入れの増加などにより増収となった。
- その他は、卸売業の大丸興業が自動車部品の好調などにより前年実績を上回ったものの、(株)ディンプルを連結範囲から除外した影響により、トータルでは減収となった。

【お問合せ先】 J.フロント リテイリング株式会社
 ・ IR推進部 TEL 03-6895-0178
 ・ グループ広報推進部 TEL 03-6895-0172

2022年6月度 百貨店事業 営業報告(日本基準)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	6月度		3-6月累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	26.0	36.4	46.1	52.5
大丸 梅田店	12.2	25.2	42.2	40.9
大丸 東京店	33.4	62.4	45.8	58.8
大丸 京都店	10.7	27.1	20.1	26.9
大丸 神戸店	30.2	23.1	40.1	32.5
大丸 須磨店	▲11.7	9.0	▲4.0	13.3
大丸 芦屋店	3.2	3.9	4.0	10.6
大丸 札幌店	35.6	52.0	31.2	34.5
大丸 下関店	▲1.8	3.6	▲3.7	▲0.2
松坂屋 名古屋店	11.1	13.7	14.8	13.8
松坂屋 上野店	6.1	30.2	18.3	34.5
松坂屋 静岡店	6.1	24.5	8.5	24.4
松坂屋 高槻店	1.6	26.1	19.6	47.3
店 計	17.5	26.2	26.6	29.1
既存店計	18.9	28.4	28.2	31.3
法人・本社等	51.4	-	38.5	-
大丸松坂屋百貨店合計	18.7	26.2	27.2	29.1
うち商品売上高	18.7	-	27.5	31.3
うち不動産賃貸収入	18.7	-	21.4	-
既存店計	20.1	28.4	28.7	31.3
博多大丸	19.6	34.8	20.4	29.3
高知大丸	0.6	10.9	0.6	13.4
百貨店事業合計	18.5	26.5	26.2	28.9
既存店計	19.7	28.5	27.6	31.0

※注) 1. 松坂屋豊田店は、2021年9月末日をもって営業を終了しました。
 2. 既存店計には、松坂屋豊田店の前年実績値を含みません。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	6月度	3-6月累計
紳士服・洋品	11.5	27.5
婦人服・洋品	25.5	42.0
子供服・洋品	▲10.7	8.1
その他の衣料品	13.8	26.2
衣料品計	22.3	38.6
身 回 品	23.3	38.1
化粧品	18.3	16.4
美術・宝飾・貴金属	25.7	28.2
その他雑貨	11.9	16.5
雑 貨 計	21.7	22.2
家具	10.5	16.3
家電	▲0.4	4.5
その他の家庭用品	2.0	3.3
家庭用品計	3.9	6.3
生 鮮	▲11.0	▲7.5
菓 子	21.5	22.2
惣 菜	6.7	13.3
その他食料品	▲2.6	3.0
食料品計	5.6	10.5
食堂・喫茶	72.2	66.7
サービス	46.3	46.4
そ の 他	14.2	12.9
合 計	18.7	27.5

3. 営業概況

・婦人服洋品では、ジャケット、ワンピースなどの定価商品が好調だったことに加え、ラグジュアリーブランドが対前年3割増と大きく伸ばして牽引した。紳士服・洋品では、スーツ、アウトドア用品が好調であった。雑貨では化粧品が2桁増となったほか、宝飾品も3割増と大きく伸ばした。食品では生鮮食品が苦戦したが、菓子が対前年2割増となり、好調を持続した。

2022年6月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	6月度	3-6月累計
札幌PARCO	12.6	12.5
仙台PARCO	17.1	23.5
新所沢PARCO	▲5.4	▲6.5
浦和PARCO	11.0	6.3
池袋PARCO	18.5	38.6
PARCO_ya上野	24.6	48.7
ひばりが丘PARCO	5.4	17.9
吉祥寺PARCO	8.7	23.5
渋谷PARCO	17.8	48.5
錦糸町PARCO	17.7	33.1
調布PARCO	8.9	21.0
津田沼PARCO	▲3.3	▲6.8
松本PARCO	▲3.6	▲6.5
静岡PARCO	▲0.6	0.9
名古屋PARCO	24.1	19.4
心斎橋PARCO	7.6	40.7
広島PARCO	26.0	16.4
福岡PARCO	10.8	11.3
全店計	12.6	19.1

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	6月度	3-6月累計
衣料品	8.5	18.1
身回品	12.8	19.5
雑貨	9.4	16.4
食品	3.9	5.4
飲食	50.4	44.5
その他	10.1	19.8
合計	12.6	19.1

3. 営業概況

- ・6月は、前月に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着いた影響により消費行動が活発になったことや、前年の主要なパルコ出店地域における緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の実施に伴う営業時間短縮や一部店舗の休業の反動などがあり、全店舗計で前年に比べ好調に推移した。
- ・アイテム別では、6月後半にかけて気温が大幅に上昇したことでエアコンなどが売れた家電製品の好調が雑貨をけん引。人出が増加したこともあり、飲食は前年を大きく上回り、食品は郊外店を中心に好調で、前年に加え2019年度に対しても上回った。また、行動自粛ムードの緩和などにより旅行が前年に比べ大きく伸長するなど、全てのアイテムで前年を上回った。